

ちよつとくわしく！

さぬきはん 佐貫藩と幕末の様相



さぬきはん とくがわいえやす てんしょう ふだい
 佐貫藩は、徳川家康の関東入りにともない、天正18(1590)年に徳川譜代
 ないとういえなが さぬきじょう
 の内藤家長が佐貫城主となり成立しました。佐貫城は、16世紀に上総地方
 まりやつ たけだ
 で活躍した真里谷武田氏によって築かれたとされています。武田氏の後は、
 あわさとみ
 安房里見氏の拠点の山城としても機能しました。

まつだいら やなぎさわ げんろく
 佐貫藩は、内藤氏の後、松平氏、柳沢氏と城主が代わり、元禄7(1694)年
 ほうえい あべ まさたね
 以降しばらく廃城となりますが、宝永7(1710)年に阿部正鎮が城主となり、
 はいはんちけん まさつね
 廃藩置県により廃城となる9代正恒まで続きました。



『宝永7年佐貫城絵図』市指定文化財(個人蔵)



相場助右衛門の墓(富津市花香谷・安楽寺)



小久保藩陣屋跡石碑(富津市小久保)

幕末の佐貫藩は、きんのう さばく
 勤皇派と佐幕派(幕府派)が対立していました。徳川譜代の
 たいせいほうかん けいおう
 家柄である佐貫藩は佐幕派が多く、大政奉還後の慶応4(1868)年4月には
 あいばすけえもん
 木更津に集結した旧幕府軍への援助が決定され、反対した家老相場助右衛門
 が暗殺されています。

てんぐとう そのうじょういかけきは
 幕末の水戸藩から発生した「天狗党」は、尊王攘夷過激派の一派です。佐
 貫藩には降伏した天狗党浪士20数名が預けられ、斬首4人、病死5人のほ
 かには水戸へ帰ることを許されました。その一方で、天狗党の乱をしずめるた
 めに活躍したたぬまおきたか
 田沼意尊は、敦賀で降伏した天狗党の大量処刑を行っています。

こくぼ はんしゅ
 慶応4(1868)年に、田沼意尊は相良から小久保へ移封、小久保藩主となり、
 こくぼ はんしゅ
 現在の中央公民館周辺に小久保藩の陣屋が構えられました。